



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立橋小学校
学校だより No.43
令和6年12月13日
文責：校長 酒井 健

◇「年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動」が始まりました。

毎年、年末年始に行われている「年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動」が始まりました。今年度は、令和6年12月10日(火)～令和7年1月7日(火)までの29日間となっています。今年度の運動のスローガンは、『今日もまた あなたの無事故 待つ家族』であります。保護者の皆様方も、子どもたちも、事故などに遭わない、起こさないよう皆さんで注意していきましょう。

【令和6年度 運動の重点】

- ① 夕暮れ時や夜間の交通事故防止 … PM4〔早めのライトオン〕
 - ② 飲酒運転の根絶
 - ③ 高齢運転者対策の推進
 - ④ 自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
 - ⑤ すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ※これからの季節、凍結など道路状況も悪くなります。安全運転を心がけましょう。



校長のひとりごと 今日、私の思い出深い本、3冊を紹介しますね。



○「だれも知らない小さな国」(作:佐藤さとる)

実は、私、同じ本を3回買ったことがあるんです。1回目は小学校5年生の時、2回目は大学生の時、そして3回目は教員になって10年ほど経った頃でしょうか。その本が、「だれも知らない小さな国」という本です。初めて、この本を手にした小学生の私は、この物語の世界に入り込み、コロボックルという小人が自分の身のまわりにもいるかもしれない・・・なんて思っていました。夢多き、純粋な少年だったのです。それから、引っ越しなどで本の行方が分からなくなり、大学生の時に書店で見かけ、思わず購入。大人になってからも懐かしく購入・・・となったわけです。不思議なことは、大学生や大人になって読み返した時に、子どもの頃に戻れるということです。子どもの頃の記憶がすーっと蘇るってすごいことですよね！

○「星の王子さま」(作:サン・テグジュペリ)

教員になって、ある学校に勤務していた時、その時の校長先生から、「この本をじっくり読んでごらん。この物語の中に、教師としての大切な何かが、きっと見つかるはず」と、プレゼントされたのが、この「星の王子さま」でした。若き青年教師だった私は、一気に読み進めました。しかし、教師として大切な何かが全く分かりませんでした。どこに、どのような大切な何かがあるのだろうか？と疑問が残ってしまいました。ところが、ところがです。少し時間が経過し、教務主任になった頃、2度目にチャレンジした時、「あっ、こんなことだったのかな」と気付くことがいくつかありました。そして、教頭になって数年経過した頃に、3度目のチャレンジ・・・「なーるほど、こういうことだったのか」と分かったような気がしました。作者の想いに感銘を受けたことを覚えています。

この本を、教師を目指して、今、講師として小学校に勤務している先生にプレゼントする機会がありました。ぜひ、今後、教師となってから、何度か読み返して、この物語が伝えたかったこと、教師として、大切にしていきたい何かに気付くことができればいいなと思います。大人の方へも、おすすめの一冊です。

○「おまえ うまそうだな」(作:宮西 達也) 絵本

昨年度の「校長のひとりごと」でも紹介しました。我が息子が、まだ4歳から5歳ぐらいの時のことです。お父さん(私)のひざに抱っこしながら、この「おまえ うまそうだな」を読んであげたことがあります。この絵本も橋小学校の図書室にありますので、ぜひ、借りて読んでみてください。

最後のシーンが、『「さようなら ウマソウ・・・」 ティラノサウルスは そう つぶやいて あかい みを ひとつ たべました。』という言葉で終わります。ここだけでは、なんのことか分からないと思いますが、最初から読んでいくと、胸にぐっとくる感動のシーンとなるんです。

「さようなら ウマソウ・・・」と読んだ時、私は、なぜか感動して、涙が出そうになりました。ところが、その時、息子が、すすり泣きだしたのです。4歳、5歳でも、心が動くことがあるのか！と驚き、その後、親子そろって号泣したという、思い出の絵本です。

橋小学校の子どもたちも、心を揺り動かされる、大きくなってからもまた読みたくなる、そのようなステキな本と出会ってほしいと思います。子どもたちの周りには、すばらしい本がたくさんあります。橋小学校の図書室にも、たくさん取りそろえています。「読書大好き！」な子どもたちであってほしいですね。